水稲除草剤

かみわざ®Z1キロ粒剤

シクロピラニル……0.9%
ジメスルファゼット……1.5%
プロピリスルフロン……0.9%

種類名／シクロピラニル・ジメスルファゼット・プロピリスルフロン粒剤
農林水産省登録／第25031号
毒性／普通物*
有効年限／4年
包装／1kg×12、10kg

特　長

- 新規有効成分「シュタルク（一般名：シクロピラニル）」配合の一発処理除草剤です。
- ノビエをはじめ、広葉やカヤツリグサ科等の幅広い雑草に高い効果と速効性を示します。
- クログワイ、コウキヤガラ、シズイ等の多年生難防除雑草にも効果的です。
- ノビエに安定した効果と長期残効性を発揮します。

適用雑草と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	総使用回数*	使用方法	被害防止方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	本剤　1回 シクロピラニル剤　2回 ジメスルファゼット剤　2回 プロピリスルフロン剤　2回	田植同時散布機で施用	使用者（調製・散布）：農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣
		移植直後～ノビエ3.5葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機散布	
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲2葉期～ノビエ3.5葉期 但し、収穫90日前まで				

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカは4葉期まで、ウリカワは3葉期まで、ミズガヤツリは草丈25cmまで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは再生期まで、オモダカは矢じり葉1葉期まで、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは草丈10cmまで、ナガエツルノゲイトウは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の使用適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ、ナガエツルノゲイトウは発生期間が長く遅い発生のものまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前から発生始期（鞘葉抽出期）に有効なので、使用適期を失しないように使用してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 使用に当っては、水の出入りを止め湛水状態（3～5cm）で均一に散布してください。本剤使用後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

●浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
●除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
●本剤を無人航空機で散布する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
●空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬　害

●軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
●直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
●いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
●本剤使用後の田面水を他作物に灌水しないでください。

■生活環境動植物への注意

●水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■貯蔵上の注意

●密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年8月4日現在の登録内容に基づいています。